

# 「戦国佐賀」二枚看板で制す

混戦の佐賀大会を勝ち抜くのに不可欠な2枚の好投手が夏を前にそろった。最速136キロ左腕の緒方と、同134キロ右腕の木谷。東明館が誇る二枚看板が創部初の悲願をかなえる原動力になる。

1年時からマウンドに上がりながら、2年の冬に左肩を痛めた緒方が復活。春の佐賀大会は3回戦で伊万里農林に2-15で敗れたが、9回を完投できるまで復調した。「球にも勢いが戻ってきた」。肩回りの筋肉が柔軟で、球の出どころが見えづらいフォームが特長。打者は球速以上の速

## エース左腕緒方 球速以上の速さ

さを感じる。鳥栖商で投手だった父、祐三さんの助言で強気に攻めることを自分に言い聞かせている。

その緒方が忘れられない試合に挙げたのが昨秋の佐賀大会準々決勝。強豪佐賀学園相手に8回まで3-2とリードしながら、9回に追いつかれ、延長戦で力尽きた。「最後まで諦めずに…」との言葉に実感がこもった。

過去最高は3回戦

復調した緒方をバックアップするのが2年生右腕の木谷だ。体は

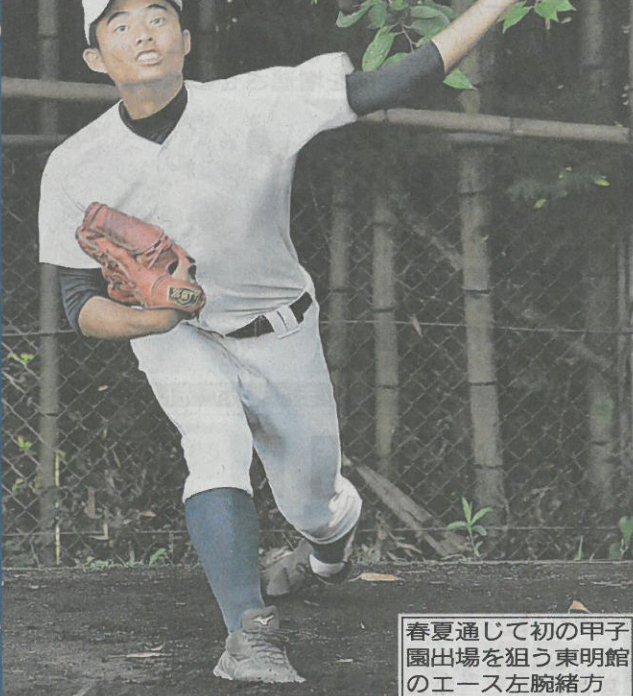
## 2年生右腕木谷 4種類の変化球

細身でも器用な手先を生かして多彩な変化球を操る。木谷も昨年末に脚を痛め、走り込めなかった代りに体幹を徹底して強化。その成果は数字に表れ、127キロだった真つすくの最速は130キロ台中盤まで上がった。今春の佐賀大会は8-0で7回コールド勝ちした1回戦の伊万里戦で先発し、6回を完投。「緒方さんの負担を少しでも減らしたい」。1988年に創部し、夏の過去最高は3回戦止まり。今夏、2人の絆で新たな歴史を築く。

(米村勇飛)

# 東明館の歴史を変える

# 緒方



春夏通じて初の甲子園出場を狙う東明館のエース左腕緒方

◆緒方雄大(おがた・ゆうだい) 1999年6月4日生まれの18歳。佐賀県鳥栖市出身。田代小1年から「神辺少年野球チーム」で軟式野球を初める。田代中では軟式野球部に所

属し、エースの2年時に九州大会出場。東明館では1年夏からベンチ入り。憧れの投手は大谷翔平(日本ハム)。変化球はスライダーとカーブ。180センチ、79キロ。左投げ左打ち。

# 木谷



◆木谷聖哉(きたに・せいや) 2000年10月26日生まれの16歳。佐賀県上峰町出身。上峰小3年から軟式野球を始め、上峰中では軟式野球部。東明館高では1年春からベ

ンチ入り。憧れの投手はダルビッシュ有(レンジャーズ)。変化球はスライダー、カーブ、ツーシーム、チェンジアップ。179センチ、63キロ。右投げ右打ち。

東明館の二枚看板の一人、2年生右腕の木谷

購読お申し込みは

ダイヤル

0120-44-0120